

# 【特別セッション】

当該セッションは、参加費無料です。

場所： せんだいメディアテーク

◆ 10月27日（金）12：20～13：50

## 【IoT×GISによるサイバー空間と物理空間の融合】

オーガナイザー： 巖網林

世界はIoT(Internet of Things)によって現実空間(Real Space)と仮想世界(Cyber space)が融合し、リアルタイムなGIシステム, GIサイエンス, GIサービスが実現されようとしています. GIS学会は2016に「IoTとGIS分科会」を設置し、技術動向と社会応用を調査しています。このセッションはサイバー空間と物理空間を融合させる要素技術と情報基盤について、IoT×GISの技術動向と学術研究、社会応用の課題を検討します。

◆ 10月27日（金）14：10～15：40

## 【東日本大震災における自治体GISを考える】

オーガナイザー： 青木和人

東日本大震災から6年を経て東北は復興から次のステップへ移りつつあります。

GISは、様々な地域情報や行政情報を活用した地域コミュニケーション基盤として、平時だけでなく、災害発生から復興対応にも的確に対応できるものです。特に住民情報を積極的に活用して市民の満足度を高めるという「東北発」の注目すべき取り組みも始まっています。

本セッションは、復興～地方創生・これからの地域づくりに向けた自治体職員や、復興・防災・地方創生を支えた地元コンサルタントの方などを話題提供者としてお招きして、GISの活用による効果、導入や運用の課題、今後の展望について話題提供とディスカッションを行います。

◆ 10月27日（金）16：00～18：50

【第11回マイクロジオデータ研究会「地域創生と空間情報のリアル～今何が出来て、何が出来ていないのか？～」】

オーガナイザー：秋山祐樹

我々は2011年に「マイクロジオデータ研究会」を発足させ、マイクロジオデータの普及と利活用について産官学の有識者を中心に議論を行って来ました。「マイクロジオデータ(MGD)」とは位置情報や時間情報を持つ時空間的に高精細な(例えば建物や人単位)データや統計の総称のことを言います。MGDは既存の各種統計・空間データでは実現し得なかった、時空間的にきめ細やかな分析や計画支援等への利活用が期待されています。

昨年で研究会発足から5年目を迎え、本研究会はMGDに関連した研究だけでなく、「実社会での活用」にフォーカスを当てた活動にシフトしつつあります。そこで第11回となります今回は「地域創生と空間情報のリアル」と題し、様々な空間情報を活用した地域創生に関する活動を産学官の有識者の皆様からご講演頂きます。さらに同活動を進めていく中で「今何がどこまで出来るのか」、そして「今何がどうしても出来ないのか」ということをご紹介頂き、空間情報を活用して地域創生を進めていく上での課題と今後取り組むべき活動について議論を深めたいと考えています。